

令和6年度 1年次生 学びのプラン

教科名	総合的な探究の時間	単位数 (コマ数)	1単位 (コマ)	履修年次	1年次
科目名	C=プロジェクト	履修	必履修(共通)	開講	通年
教科書	なし	副教材	スタディサプリ探究講座 「探究思考BOOK」「課題発見ワークBOOK」		

1 学習の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

2 学習の方法

帯広三条高校では、総合的な探究の時間を「C=プロジェクト(通称:Cプロ)」と呼んでおり、2007年に進学重視型の単位制を導入したタイミングで設定されました。その当時と比べて時代は大きく変化しましたが、総合的な探究の時間の目標と一致する部分も多いことから、名称を継続して使っています。

この「C=プロジェクト」では、「**地域と連携・協働した探究的な学びを通して、主体的に学ぶ力を身に付け、主体的な進路選択と進路実現ができるようになる**」ことを3年間の到達点にしており、身につける力は右下の4つです。これらの力はCプロのみではなく、日常の授業や学校生活を通して横断的・探究的に学ぶことで向上させることができます。

【Cプロジェクト:3つのCの由来】*2007年当時

- ① CREATIVITY(創造性・独創性)
習得した知識・技能を基盤とした思考力・判断力・表現力により、創造性や独創性をもって新たな価値を創造していく能力
- ② COMMUNICATION ABILITY(コミュニケーション能力)
他者の考えや異文化を理解・尊重し、主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度・能力
- ③ CRITICAL THINKING(批判的思考)
事物・現象を多様な角度から検討し、論理的・客観的に分析し理解する能力



【総合的な探究の時間で身につける力】

- ①他と協働して課題を解決する力
・傾聴力 ・発信力 ・想像力 ・創造力
- ②思考・判断・表現する力
・計画力 ・知識活用
- ③社会・国際社会を探究する力
・分析力 ・課題発見力
- ④実現に向けて努力する力
・自己肯定力 ・行動力

3 評価について

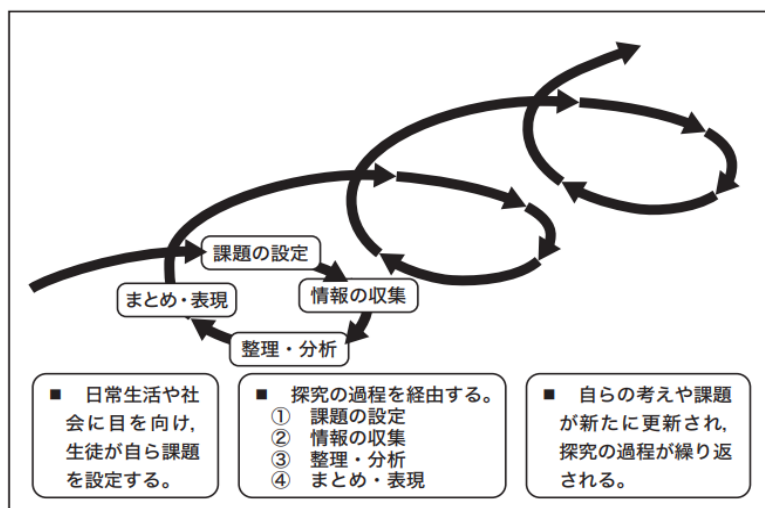
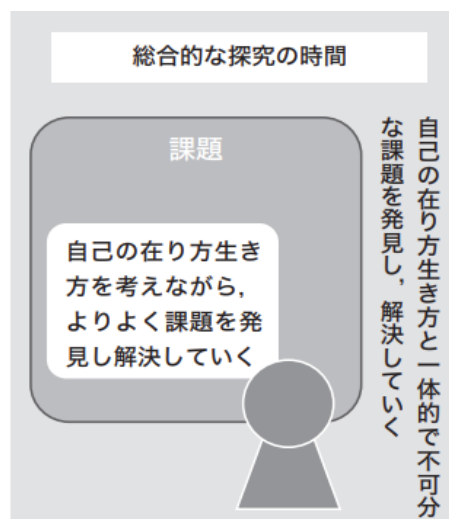
※単元別に後述します。

4 その他

※図の引用元:【総合的な探究の時間編】高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説

●探究活動のポイント

- 1・自己との関わり・・・探究活動は、「自分ごと」にできるかがカギです。自分の生き方や進路との関わりを見つけてください。
- 2・社会との接続・・・将来、社会に出て働く人間として、地域や社会との関わりは必須です。そこで、様々な考え方を身につけます。
- 3・横断的な学び・・・日頃の授業との関連、地域・社会との関わりなど、探究活動は「すべての学び」につながります。
- 4・4プロセスの明示・・・1年次では、探究に必要な4つのプロセス(右下図)を習得してもらいます。探究活動の土台です。
- 5・探究サイクルの重視・・・4つのプロセスを1度行って終了、が探究ではありません。これを繰り返していくことが「探究活動」です。



5 単元の目標・評価

科目名	C=プロジェクト			単元名	探究の学び						
単元の目標	【①】探究の過程(4つのプロセス)を通して、他者と協働しながら、探究の意義や価値を理解する。 【②】探究の過程(4つのプロセス)を通して、思考・判断・表現する力を伸長する。 【③】探究の過程(4つのプロセス)を通して、探究活動の方法を身につける。										
学習活動	スタディサブリ探究講座「課題発見型」を用いて、探究活動に必要な過程(4つのプロセス)について学びます。ここでの学びが、次の単元「地域探究」につながっていきます。個人で取り組む場面と他者と協働する場面があるため、主体性や協働性が求められます。 <4つのプロセス> ◆課題の設定・・・「なりきりメガネ」をかけて問題を探り、「自分ごと化」した課題を決める。 ◆情報の収集・・・課題の原因や解決に向けた先行事例を調査する。 ◆整理・分析・・・調査した内容をもとに取り組むべき課題に整え、アイデアを策定する。 ◆まとめ・表現・・・課題・解決策をまとめ、発表する。 スタディサブリのアンケート機能や活動メモなどを用いて、内容毎に振り返りも行います。振り返りは、「探究のプロセスを振り返るとともに、課題と自分自身や社会との関係を考え、次の探究につなげていく」上で、非常に大切です。自身の取り組みを客観的に見直し、学習の改善につなげてください。また、この単元では、ICT機器(タブレット等)を活用します。日頃の授業で身につけた力を存分に生かしてください。										
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力	
評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	【③】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。				【②③】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。			【①】探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、探究の意義や価値を理解している。			
評価材料	・ワークシート ・振り返り				・ワークシート ・発表活動 ・振り返り			・ワークシート ・振り返り ・取り組みの観察結果			

科目名	C=プロジェクト			単元名	地域探究					
単元の目標	【①】前単元で学んだ内容を最大限に生かしながら、地域（人材）と連携・協働した探究の学びを深める。 【②】探究活動や発表会を通して、思考・判断・表現する力を伸長する。 【③】地域課題を自分ごととしてとらえ、課題の設定や情報収集、分析する力を伸長する。									
学習活動	「地域（十勝）の課題」をテーマに、希望する分野ごとに探究活動を行います。前単元で学習した「課題発見型」を土台にして、探究の過程をたどりながら、1月の全体発表会を目指します。 ＜4つのプロセス＞ ◆課題の設定・・・地域に関わる課題を、分野毎に設定する。 ◆情報の収集・・・課題の原因や先行事例を調査する。地域で活躍する人材に協力をしてもらう。 ◆整理・分析・・・調査した内容をもとに取り組むべき課題に整え、アイデアを策定する。 ◆まとめ・表現・・・課題・解決策をまとめ、発表する。 地域探究では、分野に応じ、その道で活躍する人たちに助言や協力をしてもらいながら探究活動を進めていきます。引き続き、ICT機器（タブレット等）を活用します。日頃の授業で身につけた力を存分に生かしてください。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	【①③】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、地域探究に活用できている。			【②③】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。			【①②】地域探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、新たな課題に対する解決策を創造しようとしている。			
評価材料	・ワークシート ・振り返り			・ワークシート ・発表活動 ・振り返り			・ワークシート ・振り返り ・取り組みの観察結果			

6 年間計画				
学期	月	単元		項目
前期	4	探究の学び	探究オリエンテーション	(宿泊研修内で実施) ・Cプロについて ・探究活動について
	5		課題の設定 情報収集	・「なりきりメガネ」をかけて問題を探り、問題を自分ごと化する。 ・問題の原因や先行事例を調査する。
	6		(進路・科目選択ガイダンス)	
	7		整理・分析 まとめ・表現	・調査した内容をもとに取り組むべき課題に整え、アイデアを策定する。 ・課題・解決策をまとめ、発表する。
	8	地域探究	地域課題を題材とした分野別探究活動	・地域に関わる課題を、分野毎に設定する。
	9			・課題の原因や先行事例を調査する。 また、地域人材を有効に活用する。
後期	10			(進路ガイダンス・進路活動)
	11			・調査した内容をもとに取り組むべき課題に整え、アイデアを策定する。
	12			・2年次の類型別発表会に参加する。
	1		地域探究発表会	・策定したアイデアをまとめ、発表する。
	2	(進路に関わる活動)	(進路ガイダンス)	
	3		(進路活動)	